

# 子どもの読書活動推進プログラム



北海道「朝読・家読運動」イメージキャラクター

北海道教育委員会

平成24年1月

# 目 次

はじめに .....	1
1 子どもの読書活動推進に関わる現状と課題	
（１）学校・家庭・地域における子どもの読書活動の推進 .....	2
課題 「子どもの読書への意欲を高める取組」	
課題 「子どもの読書活動を支援する団体等の組織化」	
課題 「読書推進アドバイザーの資質向上」	
（２）子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備 .....	5
課題 「子どもの読書活動推進計画未策定市町村への指導助言」	
課題 「学校図書館図書の計画的な整備」	
（３）子どもの読書活動に関する理解と関心の普及 .....	9
課題 「子どもの読書活動推進に係る情報提供」	
< 参考データ >	
全国上位県との比較 .....	10
目標指標の管内別データ .....	10
2 子どもの読書活動推進のために	
（１）子どもを読書好きにするための取組の推進 ～意識の啓発～ .....	12
「子どもの読書への意欲を高める取組」への対応	
（２）子どもの読書活動の推進に向けた働きかけ ～取組への支援～ .....	16
「子どもの読書活動を支援する団体等の組織化」への対応	
「読書推進アドバイザーの資質向上」への対応	
「子どもの読書活動推進計画未策定市町村への指導助言」への対応	
「子どもの読書活動推進に係る情報提供」への対応	
（３）各市町村教育委員会や学校における図書の整備 ～環境整備～ .....	18
「学校図書館図書の計画的な整備」への対応	
< 参考事例 >	
平成22年度 文部科学大臣表彰優秀実践校 .....	20
平成23年度 文部科学大臣表彰優秀実践校 .....	23

## はじめに

読書のもたらす恩恵は、知的で心豊かな国民生活と活力ある社会の実現に欠くことのできないものです。しかし、近年、社会全体の傾向として深く考察する力や自分の思いを言葉で伝える力の低下が懸念されており、このことに危機感を募らせる人々も少なくありません。このため、平成13年には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が、また、平成17年には「文字・活字文化振興法」が制定されるとともに、平成19年に改正された「学校教育法」において、義務教育の目標に関する規定に「読書に親しませ」との文言が新たに盛り込まれるなど、子どもにとって読書が重要であるという社会的意識を高めるための取組が進められてきています。

このような中、北海道教育委員会においては、北海道の全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にその環境の整備を図ることを基本理念とした「次代を担う子どもの心をはぐくむ北の読書プラン（北海道子どもの読書活動推進計画）」を平成20年3月に策定するとともに、「北海道教育推進計画」における基本方向の一つに「豊かな人間性と感性を育む教育の推進」を掲げ、読書活動の推進に取り組むこととしています。今年度は、新たに「望ましい読書習慣定着推進事業」を実施し、「朝読・家読運動」を全道展開しております。

また、今回の学習指導要領の改訂においては、各教科等を通じて児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育む観点から、言語活動を充実することとしております。その中でも、読書は、児童生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で重要であり、児童生徒の望ましい読書習慣を形成するため、学校の教育活動全体を通じ、多様な指導が求められております。さらには、平成19年度から実施している全国学力・学習状況調査の結果から、本道の子どもたちの学力は、全国平均を大きく下回り、極めて深刻な状況にあります。全国学力・学習状況調査の結果において、「読書が好きな児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られる」など、読書習慣と学力の間に関連があることが指摘されています。

こうした状況を踏まえ、道教委として子どもの読書活動の推進について早急に対応するため、本道の子どもたち一人一人の読書活動の推進を目指した具体的な方策を総合的・横断的に検討し、この度、子どもの読書活動推進プログラムを策定し、取組を進め、平成25年度からの次期「北海道子どもの読書活動推進計画」につなげてまいりたいと考えております。

本プログラムには、本道の子どもの読書活動の状況及びこれまでの子どもの読書活動推進に係る課題を踏まえた道教委の取組はもとより、地域のボランティアによる読み聞かせや家族・親子での読書など、市町村教育委員会や学校・家庭・地域における子どもの読書活動の取組事例も掲載しております。市町村教育委員会や学校におきましては、本プログラムを参考にいただき、それぞれの実情に応じて家庭や地域と一体となり、子どもの読書活動の推進に向けた取組を積極的に進めていただくことを期待します。

# 1 子どもの読書活動推進に関わる現状と課題

「北の読書プラン（北海道子どもの読書活動推進計画）」を踏まえ、「学校・家庭・地域における子どもの読書活動の推進」、「子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備」、「子どもの読書活動に関する理解と関心の普及」の3つの観点について、その現状と課題を整理した。

## (1) 学校・家庭・地域における子どもの読書活動の推進

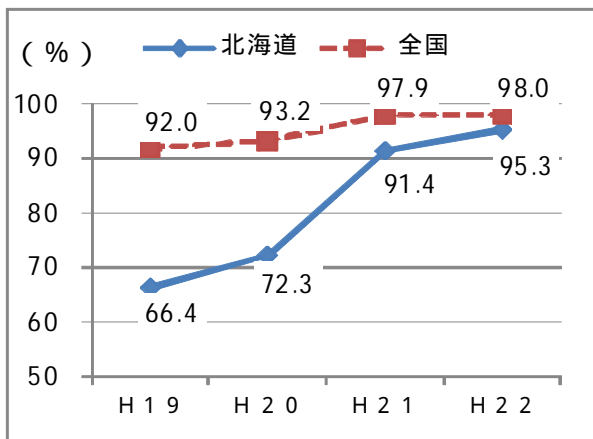
### 【現状】

#### 「朝の読書」などの一斉読書の取組状況

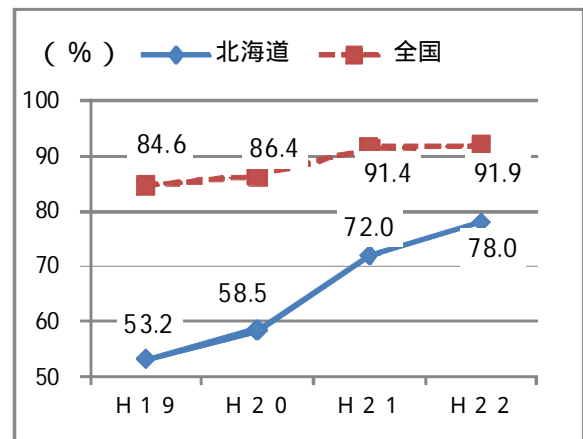
(「北海道教育推進計画」における平成24年度までの目標：小学校90%、中学校90%)

文部科学省が平成19年度から毎年度実施している「全国学力・学習状況調査」の結果から、小・中学校における「朝の読書」などの一斉読書の取組状況については、小・中学校とも年々上昇しているが、全国と比べ低い状況である。

< 小学校 >



< 中学校 >

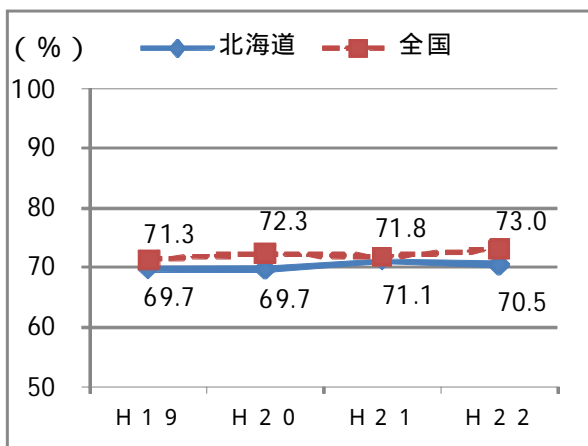


#### 「読書の好きな児童生徒」の状況

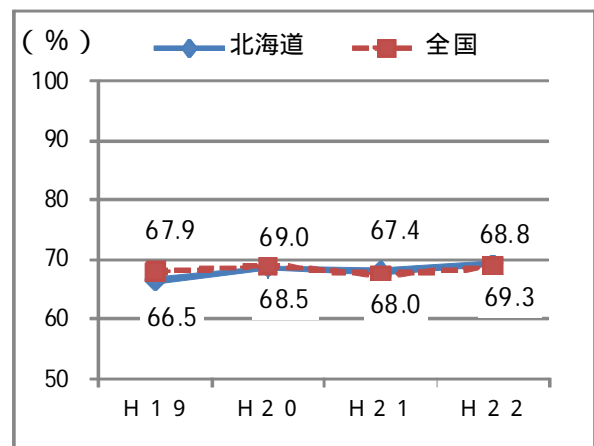
(「北海道教育推進計画」における平成24年度までの目標：小・中学校 すべての児童が「読書は好きですか」という問いに、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」のどちらかを回答することを目指す。)

文部科学省が平成19年度から毎年度実施している「全国学力・学習状況調査」の結果から、小・中学校における「読書の好きな児童生徒」の割合は、ほぼ横ばいの状況である。

< 小学校 >



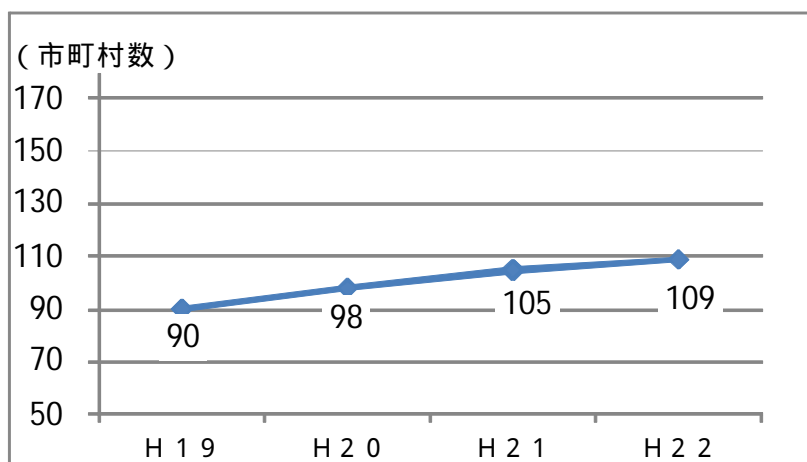
< 中学校 >



### ブックスタート事業<sup>注1</sup>の実施状況

(「北海道教育推進計画」における平成24年度までの目標：115市町村)

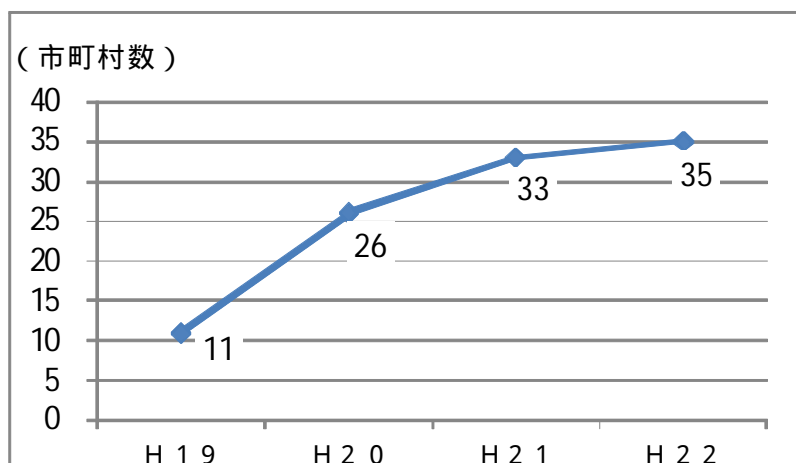
道教委が実施している「ブックスタート事業実施状況調査」の結果から、北海道においてブックスタート事業を実施している市町村数は、平成22年度において109市町村であり、年々わずかながら増加している。



### ブックスタートに準じた事業<sup>注2</sup>の実施状況

(「北の読書プラン」における平成24年度までの目標：65市町村)

道教委が実施している「ブックスタート事業実施状況調査」の結果から、北海道においてブックスタートに準じた事業を実施している市町村数は、平成22年度において35市町村であり、年々わずかながら増加しているが、目標とは大きな開きがある。



#### 注1 ブックスタート事業

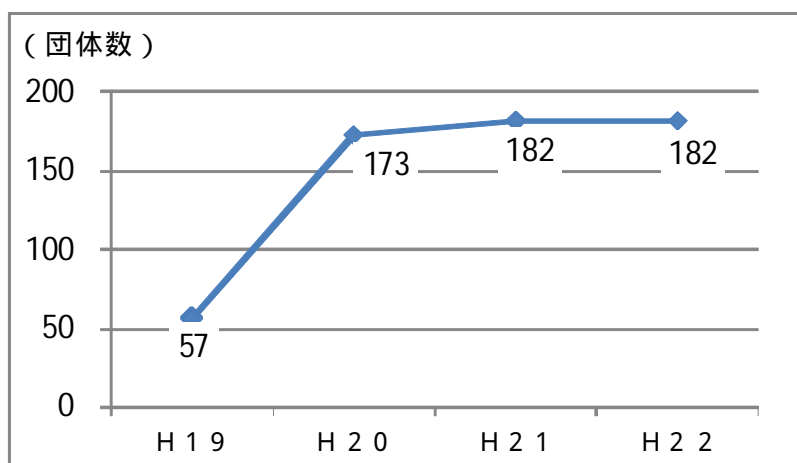
- ・地域の保健センターなどで行われる乳幼児健診の機会に、すべての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動を促進する事業

#### 注2 ブックスタートに準じた事業

- ・乳幼児健診時等に、絵本の読み聞かせなどを行うとともに、絵本の紹介パンフレットや手作り絵本を手渡したり、絵本の貸出等を行う等の事業

### 読書応援団<sup>注3</sup>の加入団体数

平成22年度において、道教委に申込みのあった読書応援団は、103市町村に182団体あり、平成20年度からほぼ横ばいの状況である。



### 読書推進アドバイザー<sup>注4</sup>養成市町村・人数

平成21年～22年において、道教委が養成した読書推進アドバイザーは、178市町村に744人であり、ほぼ全ての市町村に読書推進アドバイザーがいる。

#### 【課題】

##### 子どもの読書への意欲を高める取組

「読書の好きな児童生徒の割合」は小・中学校ともに7割にとどまっていることから、子どもの読書への意欲を高める取組の推進が必要である。

##### 子どもの読書活動を支援する団体等の組織化

道内の約4割の市町村では、読書応援団への加入がないことから、子どもの読書活動を支援する団体等が組織されるよう、市町村に情報提供をするなどして働きかけていく必要がある。

##### 読書推進アドバイザーの資質向上

読書推進アドバイザー養成後の取組として、研修の機会を設けるなどして、資質向上を図ることが必要である。

---

#### 注3 読書応援団

- ・ブックスタート事業や図書館、学校などにおける「読み聞かせ」活動など、市町村や学校が実施する子ども読書活動に関する支援、協力などをする団体

#### 注4 読書推進アドバイザー

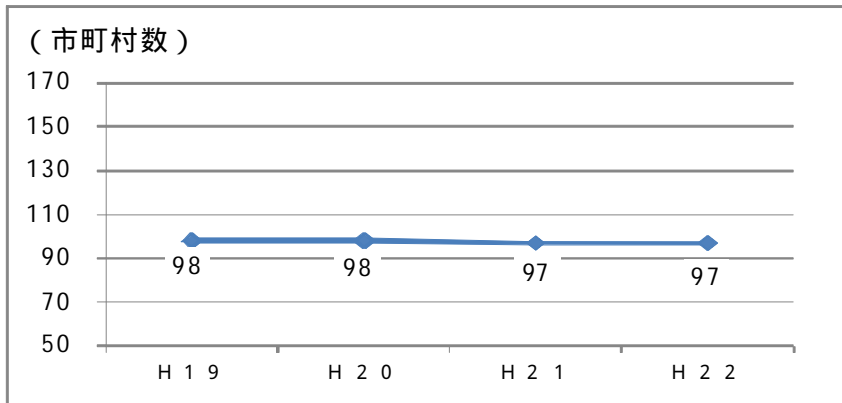
- ・ブックスタートや読み聞かせなどの子どもの読書活動推進に関する知識や技術をもつ者

## (2) 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

### 【現状】

#### 図書館を設置している市町村数

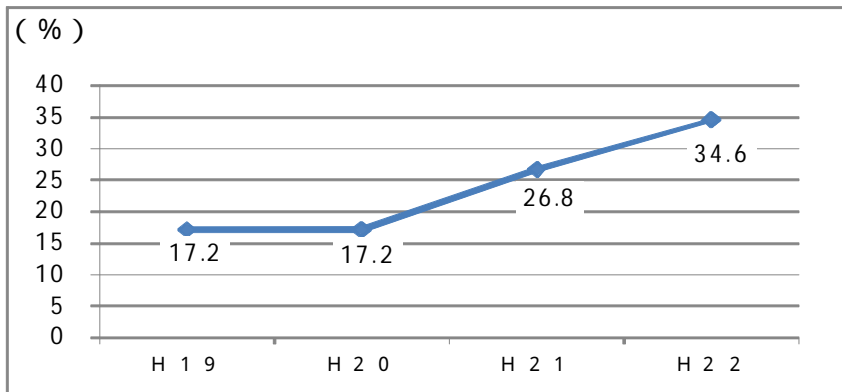
北海道立図書館の「業務実績報告書」から、図書館を設置している市町村数は、平成22年度において97市町村であり、ほぼ横ばいの状況である。



#### 市町村における計画の策定率

(「北の読書プラン」における平成24年度までの目標：40%)

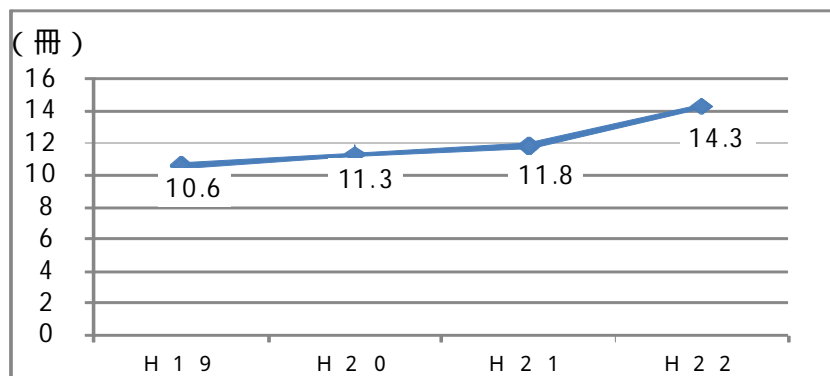
文部科学省が実施している「都道府県及び市町村における『子ども読書活動推進計画』策定状況調査」の結果から、市町村において子どもの読書活動推進計画を策定している割合は、平成22年度において34.6%であり、平成20年度から年々増加しているが、全国(46.3%)と比べ低い状況である。



#### 幼児児童1人当たりの年間児童書貸出冊数

(「北海道教育推進計画」における平成24年度までの目標：12.6冊)

北海道図書館振興協議会がとりまとめた「北海道の図書館統計」から、公立図書館・図書室において、市町村の幼児児童1人が1年間に借りた児童書の冊数は、平成22年度において14.3冊であり、目標の12.6冊を達成した。



## 公立図書館と学校の連携状況

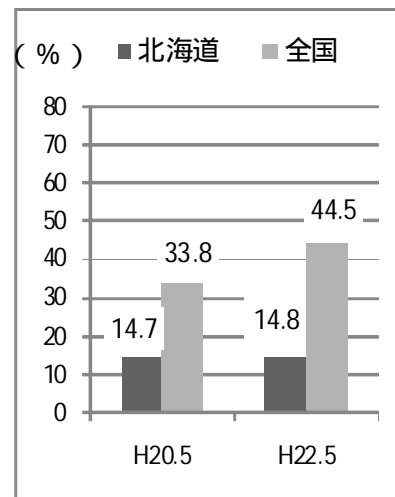
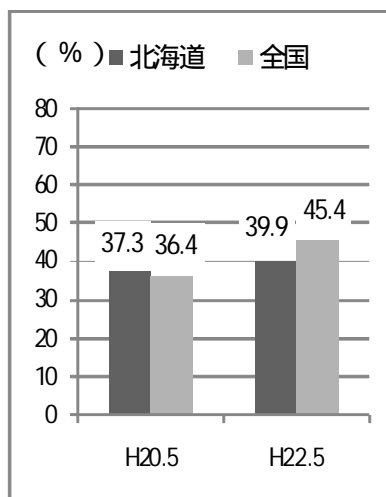
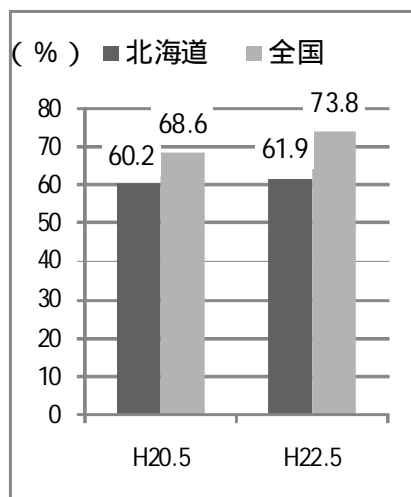
(「北の読書プラン」における平成24年度までの目標：小学校80%、中学校55%)

文部科学省が実施している「学校図書館の現状に関する調査」(以下「文科省学校図書館調査」という。)の結果から、公立図書館資料の学校への貸出しや公立図書館司書等による学校への訪問など、公立図書館と連携した活動をしている学校の割合は、平成22年5月現在、北海道は小学校61.9%、中学校39.9%、高等学校14.8%である。前回より小・中学校、高等学校とも連携の割合は増加しているが、全国と比べ公立図書館と学校の連携が進んでいない状況である。

< 小学校 >

< 中学校 >

< 高等学校 >

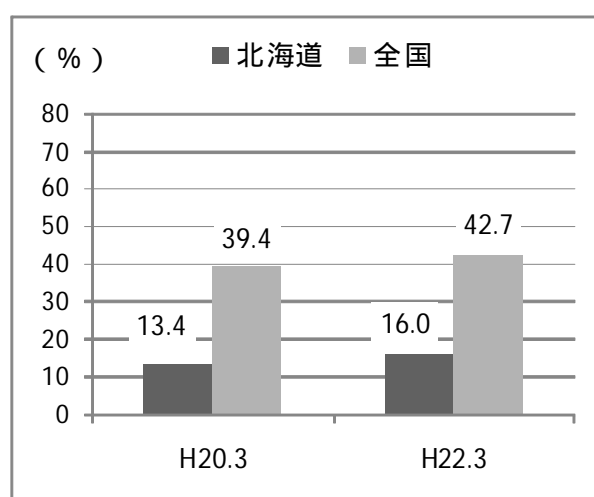
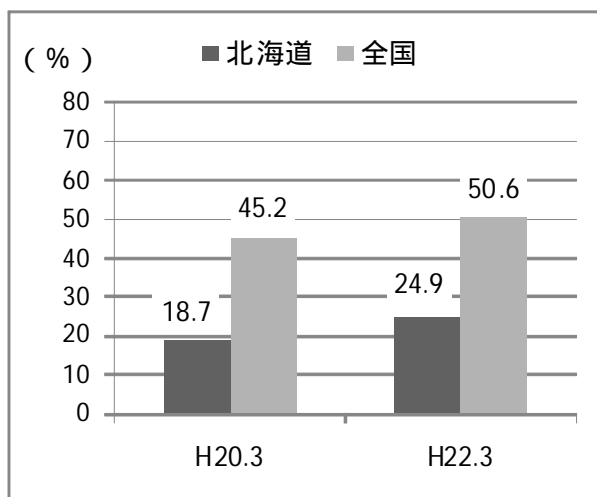


## 図書標準<sup>注5</sup>の達成率

「文科省学校図書館調査」の結果から、学校図書館の図書を整備する際の目標として設定された図書標準の達成率は、平成22年3月現在、北海道は小学校24.9%、中学校16.0%である。前回より小・中学校とも達成率は増加しているが、全国と比べ学校図書館図書の整備は低い状況である。

< 小学校 >

< 中学校 >



### 注5 図書標準

- 平成5年3月29日付け文初小第209号文部省初等中等教育局長通知により、公立の義務教育諸学校において、学校図書館の整備を図る際の目標として学級数に応じて設定した蔵書冊数の標準のこと。例えば、小学校で学級数が7～12であれば、7学級の場合は5,560冊が標準であり、1学級増えるごとに480冊ずつ増加する。



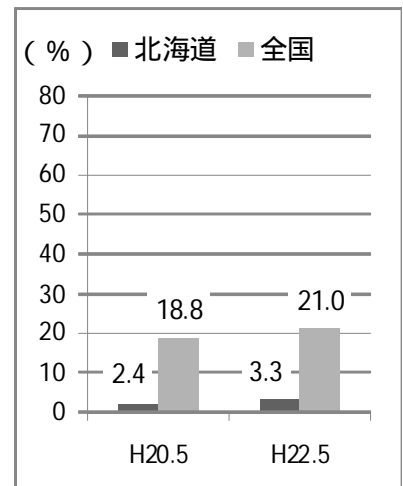
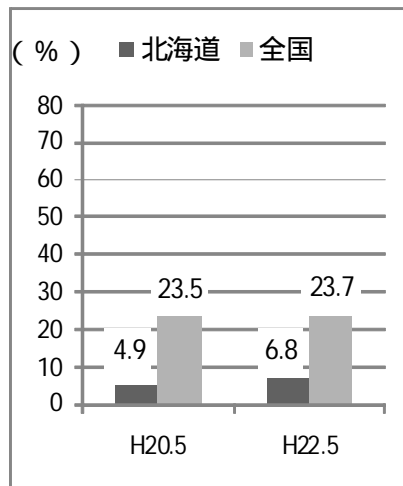
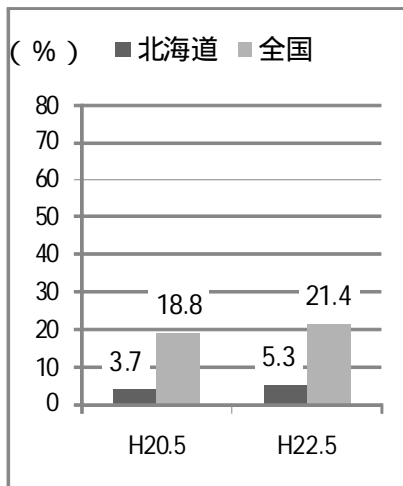
**司書教諭<sup>注6</sup>の発令状況（11学級以下）**

司書教諭については、学校図書館法の規定により12学級以上の学校に必ず置かなければならないとされているが、「文科省学校図書館調査」の結果から、11学級以下で司書教諭を発令している学校の割合は、平成22年5月現在、北海道は小学校5.3%、中学校6.8%、高等学校3.3%である。前回より小・中学校、高等学校とも発令している学校の割合は増加しているが、全国と比べかなり低い状況である。

< 小学校 >

< 中学校 >

< 高等学校 >



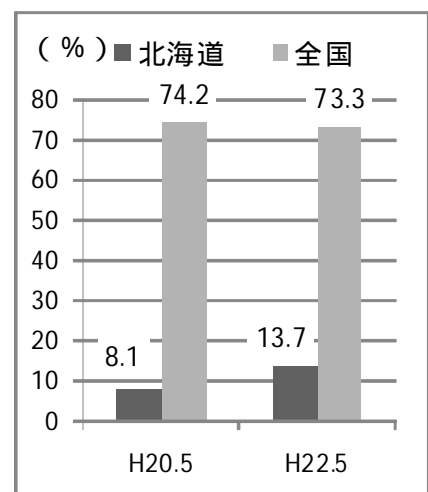
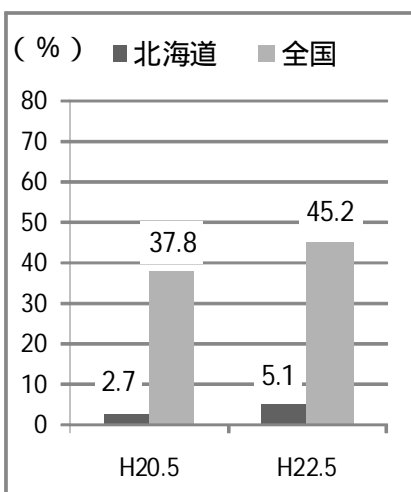
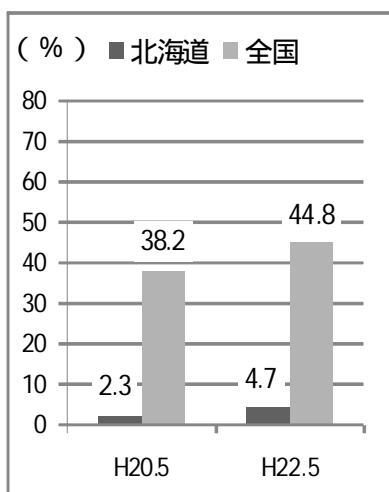
**学校図書館担当職員を配置している学校の状況**

「文科省学校図書館調査」の結果から、学校図書館担当職員（いわゆる学校司書など）を配置している学校の割合は、平成22年5月現在、北海道は小学校4.7%、中学校5.1%、高等学校13.7%である。前回より小・中学校、高等学校とも配置している学校の割合は増加しているが、全国と比べかなり低い状況である。

< 小学校 >

< 中学校 >

< 高等学校 >



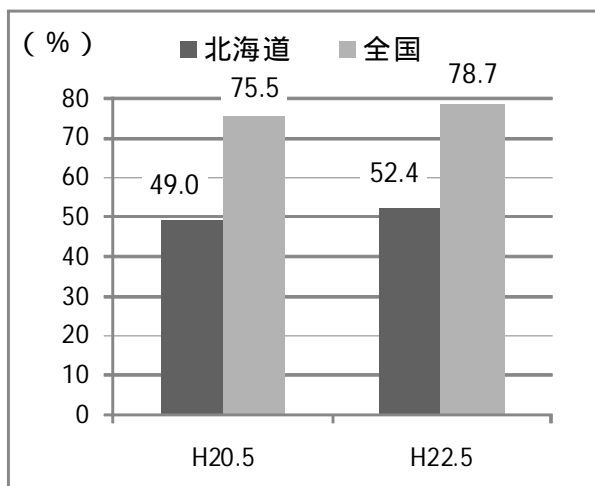
注6 司書教諭

- ・ 小学校、中学校及び高等学校等において、図書、視覚聴覚教育の資料、その他学校教育に必要な資料を収集、整理及び保存し、これを児童生徒や教員の利用に供するために設けられた学校図書館の専門的職務に従事する者

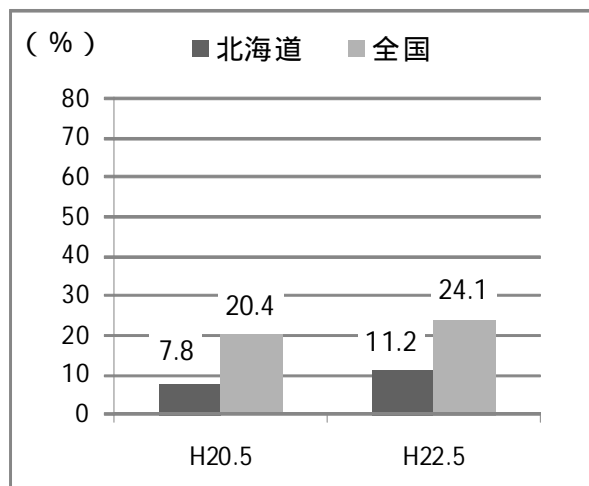
## 読書活動に関するボランティアの活用状況

「文科省学校図書館調査」の結果から、読書活動に関するボランティアを活用している学校の割合は、平成22年5月現在、北海道は小学校52.4%、中学校11.2%である。前回より小・中学校ともボランティアを活用している学校の割合は増加しているが、全国と比べ読書活動に関するボランティアの活用が図られていない状況である。

< 小学校 >



< 中学校 >



## 移動図書館車の状況

北海道図書館振興協議会がとりまとめた「北海道の図書館統計」から、平成22年4月現在、図書館設置市町村97のうち56、図書館未設置市町村82のうち11、合計67市町村（37.4%）において72台の移動図書館車を運行しており、学校などを巡回し、本の貸出・返却を行っている。

## 図書の配送・循環システムの状況

道教委の調査から、平成23年8月現在、図書館（室）と学校間において図書を配送・循環させている市町村数は、134市町村（74.9%）である。

### 【課題】

#### 子どもの読書活動推進計画未策定市町村への指導助言

道内における子どもの読書活動推進計画の未策定市町村は65.4%と半数以上を占めていることから、該当の市町村に対する重点的な指導助言が必要である。

#### 学校図書館図書の計画的な整備

平成21年度末の学校図書館図書標準の達成率は、小学校では2割強（24.9%）、中学校では2割弱（16.0%）にとどまっており、前回より小・中学校とも達成率は増加しているが、全国と比べ学校図書館図書の整備は低い状況であることから、各市町村教育委員会や学校において学校図書の計画的な整備が必要である。

### 【今後の検討課題】

「11学級以下の学校の司書教諭の発令状況」と「学校図書館担当職員を配置している学校の状況」については、全国と比べ、かなり低い状況であることから、今後、道内の現状を把握し分析するとともに、他府県の状況を把握するなどして、対応策を検討していくこととする。

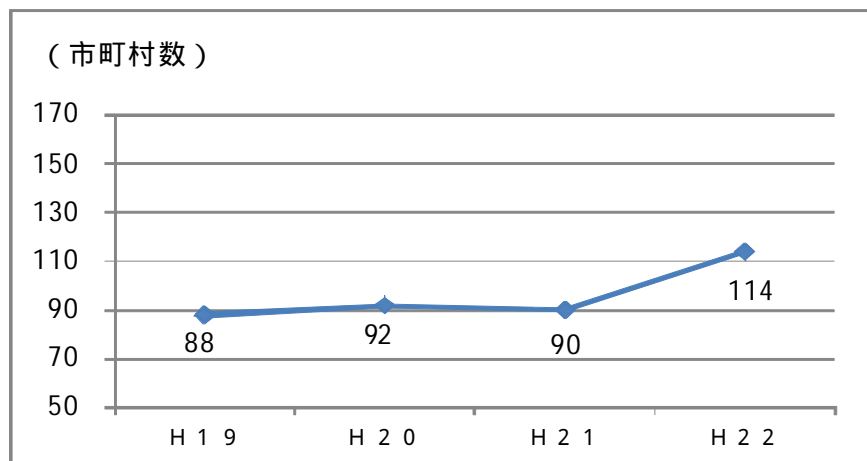
### (3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

#### 【現状】

##### 「子ども読書の日（週間）」に事業を実施している市町村数

（「北の読書プラン」における平成24年度までの目標：179市町村）

文部科学省が実施している「『子ども読書の日』に関する取組予定状況調査」の結果から、「子ども読書の日（4月23日）」や「こどもの読書週間（4月23日～5月12日）」に子ども読書活動に関する事業を実施している市町村数は、平成22年度において114市町村であり、昨年度より増加した。



#### 【課題】

##### 子どもの読書活動推進に係る情報提供

「子ども読書の日」、「こどもの読書週間」において、事業を実施している市町村の割合は、6割程度にとどまっていることから、子どもの読書活動の推進等に係る情報を提供していく必要がある。

< 参考データ >

全国上位県との比較

項目	小学校			中学校		
	北海道	全国	上位県	北海道	全国	上位県
「朝の読書」などの 一斉読書の取組状況 (H22)	95.3%	98.0%	秋田県 福井県 広島県など20県 が100%	78.0%	91.9%	愛媛県、広島県、 山梨県など6県 が100%
「読書の好きな児童 生徒」の状況 (H22)	70.5%	73.0%	秋田県(80.1%) 長野県(78.8%) 山形県(78.0%)	69.3%	68.8%	秋田県(76.5%) 栃木県(76.5%) 山口県(74.6%)
図書標準の達成率 (H22.3)	24.9%	50.6%	岐阜県(93.9%) 山梨県(88.3%) 群馬県(80.4%)	16.0%	42.7%	山梨県(81.3%) 岐阜県(75.3%) 香川県(68.9%)

目標指標の管内別データ

指標の概要		管内	H21	H22	管内	H21	H22	管内	H21	H22
学校における一斉読書の取 組状況(%)	小 学 校	空知	81.1	80.5	渡島	96.2	98.1	赤 い ぬ し	86.1	90.3
		石狩	88.8	100	檜山	97.0	100	十 勝	89.5	94.1
		後志	85.7	93.1	上川	95.4	100	釧 路	95.7	97.1
		胆振	100	98.9	留萌	100	100	根 室	97.3	100
		日高	88.9	94.4	宗谷	100	100	全 国	97.9	98.0
	中 学 校	空知	65.5	61.5	渡島	86.5	92.2	赤 い ぬ し	64.8	64.8
		石狩	66.7	92.9	檜山	84.6	84.6	十 勝	81.1	83.0
		後志	61.5	66.7	上川	91.4	97.2	釧 路	78.6	71.4
		胆振	84.9	86.3	留萌	76.5	78.6	根 室	66.7	69.2
		日高	23.5	29.4	宗谷	69.2	76.9	全 国	91.4	91.9
読書が好きな児童生徒の割 合(%)	小 学 校	空知	-	69.5	渡島	-	68.6	赤 い ぬ し	-	68.4
		石狩	-	74.2	檜山	-	71.2	十 勝	-	68.8
		後志	-	66.0	上川	-	72.0	釧 路	-	71.8
		胆振	-	71.4	留萌	-	64.5	根 室	-	74.4
		日高	-	68.2	宗谷	-	73.4	全 国	71.8	73.0
	中 学 校	空知	-	67.3	渡島	-	72.2	赤 い ぬ し	-	64.7
		石狩	-	72.8	檜山	-	74.1	十 勝	-	69.2
		後志	-	62.8	上川	-	73.5	釧 路	-	71.8
		胆振	-	67.4	留萌	-	65.3	根 室	-	64.3
		日高	-	63.1	宗谷	-	65.2	全 国	67.4	68.8
ブックスタート事業を実施して いる市町村数	空知	13	13	渡島	7	7	赤 い ぬ し	8	9	
	石狩	5	5	檜山	4	4	十 勝	15	15	
	後志	14	14	上川	14	14	釧 路	2	3	
	胆振	8	8	留萌	5	5	根 室	0	2	
	日高	2	2	宗谷	8	8	全 道	105	109	

指標の概要		管内	H21	H22	管内	H21	H22	管内	H21	H22
読書応援団の加入団体数（当該年度末現在）	空知	28	28	渡島	15	14	赤井	8	8	
	石狩	25	25	檜山	3	3	十勝	27	27	
	後志	12	12	上川	21	22	釧路	7	7	
	胆振	12	12	留萌	5	5	根室	4	4	
	日高	8	8	宗谷	7	7	全道	182	182	
子育て支援ふれあい読書推進アドバイザーを養成した市町村数	空知	0	24	渡島	11	0	赤井	8	10	
	石狩	8	0	檜山	0	6	十勝	19	0	
	後志	0	20	上川	22	1	釧路	8	0	
	胆振	0	11	留萌	0	8	根室	0	5	
	日高	3	4	宗谷	0	10	全道	79	99	
子育て支援ふれあい読書推進アドバイザーを養成した人数(人)	空知	0	102	渡島	58	16	赤井	21	88	
	石狩	16	0	檜山	0	43	十勝	41	0	
	後志	0	40	上川	74	39	釧路	22	6	
	胆振	0	56	留萌	0	9	根室	0	23	
	日高	7	37	宗谷	0	46	全道	239	505	
市町村において子どもの読書活動推進計画を策定している割合（％）	空知	16.7	25.0	渡島	36.4	36.4	赤井	38.9	38.9	
	石狩	85.7	71.4	檜山	28.6	28.6	十勝	26.3	36.8	
	後志	15.0	25.0	上川	21.7	34.8	釧路	0	12.5	
	胆振	63.6	63.6	留萌	12.5	50.0	根室	20.0	40.0	
	日高	0	0	宗谷	20.0	30.0	全道	26.8	34.6	
公立図書館・図書室において、市町村の幼児児童1人が、1年間に借りた児童書の冊数（冊）	空知	14.8	17.8	渡島	2.6	3.0	赤井	19.7	24.5	
	石狩	11.6	13.0	檜山	8.9	10.0	十勝	12.9	19.4	
	後志	6.9	9.3	上川	16.5	17.5	釧路	7.8	10.6	
	胆振	12.7	15.5	留萌	8.5	11.8	根室	13.5	20.5	
	日高	9.8	22.4	宗谷	14.7	15.0	全道	11.8	14.3	
学校図書館図書標準を達成している学校の割合（％）	小学校	空知	15.9	-	渡島	14.4	-	赤井	22.2	-
		石狩	41.7	-	檜山	14.7	-	十勝	20.4	-
		後志	15.3	-	上川	27.8	-	釧路	11.4	-
		胆振	23.9	-	留萌	32.0	-	根室	8.1	-
		日高	61.1	-	宗谷	21.3	-	全道	24.9	-
	中学校	空知	21.6	-	渡島	10.0	-	赤井	18.9	-
		石狩	10.7	-	檜山	0	-	十勝	15.1	-
		後志	18.0	-	上川	26.8	-	釧路	9.3	-
		胆振	26.9	-	留萌	20.0	-	根室	15.4	-
		日高	23.5	-	宗谷	0	-	全道	16.0	-
「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に子ども読書活動に関する事業を実施している市町村数	空知	15	18	渡島	5	6	赤井	10	14	
	石狩	6	7	檜山	2	4	十勝	11	14	
	後志	7	9	上川	7	12	釧路	6	7	
	胆振	5	7	留萌	5	6	根室	5	4	
	日高	3	2	宗谷	3	4	全道	90	114	

## 2 子どもの読書活動推進のために

「子どもの読書活動推進に関わる現状及び成果・課題」において明らかになった6つの課題を踏まえ、今後の子どもの読書活動に係る取組の指針として次の3つを定めた。

<子どもの読書活動に係る取組の3つの指針>

子どもを読書好きにするための取組の推進 ~意識の啓発~

子どもの読書活動の推進に向けた働きかけ ~取組への支援~

各市町村教育委員会や学校における図書の整備 ~環境整備~

上記の取組の指針ごとに「道教委の取組」「市町村教育委員会の取組事例」「学校・家庭・地域における取組事例」を示した。市町村教育委員会や学校・家庭・地域においては、これらの取組事例を参考にそれぞれの実情に応じた積極的な取組を期待する。

### (1) 子どもを読書好きにするための取組の推進 ~意識の啓発~

#### 「子どもの読書への意欲を高める取組」への対応

「国民の読書推進に関する協力者会議」の報告において、「『読書』は、人に知識を与えるとともに、想像力や思考力を鍛え、判断力や創造性を培い、個人の自立の基盤をつくるものである。『読む』ことは、それ自体が人に大きな喜びを与えてくれ、子どもの頃に読んでもらった幸せな記憶は次世代を慈しむ心を育て、共通の本について語りあう経験は人の気持ちを結びつけるなど、読書はかけがえのない人生への贈り物である。」と記載されている。

また、全国学力・学習状況調査の結果からは、読書の好きな児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られている。

このようなことから、子どもたち一人一人が、読書の楽しさを知り、本に興味を持ち続けていけるよう、学校・家庭・地域が一体となり、読書に対する意欲を高める必要がある。

#### 【道教委の取組】 は重点的な取組

##### 「朝読・家読運動」の全道展開

- ・「朝読・家読」に関するフォーラムを開催するとともに、リーフレットの作成、子どもの読書活動に関するホームページの開設、イメージキャラクターの普及を行う。
- ・「家読チャレンジ」の普及  
家庭教育サポート企業が実施している「『家読チャレンジ』～この本1000人読んだかな～」の取組を道内の各小学校に周知し、家庭での読書活動の推進を図る。

##### 生活リズムチェックシートを活用した子どもの読書習慣の定着

- ・生活リズムチェックシートの「読書習慣編」を活用し、子どもの望ましい読書習慣の定着を図る。

##### 推薦図書（スタンダード図書）の選定・普及

- ・推薦図書に、北海道青少年育成協会が推奨する「北海道青少年のための200冊」のほかに、学習指導要領の改訂における理数教育の充実を踏まえた科学の本を加え、子どもたちが科学の本に親しめるような取組「理科読」を進める。
- ・「北海道にゆかりのある方々のおすすめの1冊」を作成し、道教委のホームページや情報紙等で発信する。

##### サイエンスカーによる推薦図書の普及

- ・北海道立教育研究所附属理科教育センターが運行しているサイエンスカーに理科読図書を積載し、巡回地域における普及を図る。

### 学校教育指導における指導助言

- ・ 学校訪問等の際に、児童生徒の望ましい読書習慣の形成を図るため、学校の教育活動全体を通じ、多様な指導の展開を図るとともに、各教科等において学校図書館を計画的に活用した教育活動の展開に努めるなどして、学校における読書活動を一層充実させるよう助言する。
- ・ 子どもの読書活動に関する取組等を掲載した「教育課程編成・実施の手引」を作成・配布するとともに、教育課程研究協議会において、積極的な読書活動の推進を促す。

### 小・中学校ジョイントプロジェクト<sup>※7</sup>における読書活動の充実

- ・ 推進校において「子どもの読書環境整備事業」を推進し、各学校の読書活動の充実を図る。

### 就学前の幼児への読書活動推進のための指導助言

- ・ 乳幼児健診や就学時健診等における子どもの読書活動についての取組が充実するよう市町村や市町村教育委員会に働きかける。

### 「北海道春の学び推進月間（4月）」「北海道秋の学び推進月間（11月）」における読書推進等の取組の促進

- ・ 春と秋の学び推進月間において、ポスターや標語などで子どもの読書活動の取組について周知を図る。

### 公立図書館職員と司書教諭等との研修の実施

- ・ 道立図書館と北海道図書館振興協議会が共催して実施する研修会や教育局で実施する各種研修事業において、公立図書館と学校との連携などをテーマにした研修を実施する。

#### < 市町村教育委員会の取組事例 >

##### 子ども向け図書館講座や子ども司書養成講座の実施

- ・ 普段入れない書庫の見学や、本の並べ方・読み聞かせ・カウンター体験などを行っている。

##### 学校図書館の有人化

- ・ 昼休み時間に毎日、学校図書館を開放している。
- ・ 学習や行事に合わせたテーマ展示を行っている。
- ・ 児童生徒や教職員に対し、読書活動に関する支援を行っている。

##### 就学前の幼児への読書活動の推進

- ・ 乳幼児健診や就学時健診等において、図書館司書による「親子が共感できる絵本の紹介と読み聞かせ」や「保護者を対象とした絵本に関する講話」を行っている。

#### < 学校における取組事例 >

##### 魅力的な本の選書

##### 児童生徒のリクエスト本の購入

- ・ 児童生徒のリクエストやアンケートの結果を参考にして、学校図書館や学級文庫に本を購入している。

#### 注7 小・中学校ジョイントプロジェクト

- ・ 市町村教育委員会との連携・協力の下、小学校と中学校間の連携による義務教育段階の学習内容の確実な定着を図る学習指導等の在り方についての実践的な研究を行い、その成果の普及を図ることにより、本道の児童生徒の学力の向上に資する事業（平成23年度から3年間）

### スタンダード図書の購入

- ・北海道青少年育成協会が選定した「北海道青少年のための200冊」を含む道教委が選定する推薦図書（スタンダード図書）を購入している。

### 「おすすめ本リスト」の作成

- ・教職員や保護者が自分が子どものころに読んで心に残っている本を書いてもらい、「おすすめ本リスト」を作成・配布している。

## 読書活動に係る環境整備

### 展示や掲示の工夫

- ・図書を学校内の見やすい場所に移動させたり、教室内に学級文庫を設置したりするなどして、児童生徒が図書に触れる機会を増やしている。
- ・学校図書館内に紹介コーナーを設け、社会で話題の本などを紹介したり、四季折々の行事や学校行事と関連した掲示を工夫したりしている。

### 教職員の「おすすめ本コーナー」の設置

- ・教職員が児童生徒に薦める本を選び、POPを書いて展示するなど、教職員の「おすすめ本コーナー」を設置している。

### 学校図書館だよりの発行

- ・学校での読書活動の実施内容や学校図書館の利用方法等を掲載した印刷物を配布している。

### 段ボール箱文庫

- ・生徒が段ボール箱をアレンジして作製した本箱を校内に複数箇所設置し、いつでも・どこでも本が読める環境を整備している。

## 読書の楽しさに気付かせる働きかけ

### お話ランチタイム

- ・週に1回程度、お昼の放送で、教職員が、児童に昔話や低学年向けの絵本を中心に10分程度の読み聞かせを行っている。

### 校内放送による「今月の一冊」

- ・放送部に依頼して、その月のお薦め本を放送部員が朗読している。

### 必読書の推進

- ・古典や名作を中心に各学年ごとに必読書を選定し、必読書を読んだ児童に対しては、必読書カードにシールを貼り、意欲を高めるとともに、必読書を全て読み終えた児童には、「完読証」を渡し、今後の読書への励みとしている。

### 本の木

- ・読書月間中に読んだ学校図書館の本の中で、児童が気に入った本の書名・作者・自分の氏名・紹介文を木の葉の形のカードに書き、木の枝の絵に貼って友達に紹介している。

### おすすめブックレター

- ・学校図書館にポストを設置し、クラスや学年を越えて友達に薦める本を紹介する手紙を書いている。

### ビブリオバトルの開催

- ・面白い本を読んで集合し、本の魅力を一人5分以内で紹介した後、どの本を一番読みたくなったかを投票で決める「ビブリオバトル」を開催し、新たな本と出会うきっかけをつくっている。

### ブックバッグの用意

- ・保護者や地域の方々が作成したブックバッグの中に、児童の本や学校図書館から借りた本を入れ、児童がいつでも読書ができるようにしている。



### 親子ふれあい読書ブックリレー

- ・学年ごとに選定した「親子で読みたい本」を配布し、児童にブックバッグに入れて家庭に持ち帰らせ、親子で読書し、一週間程度のローテーションで次の児童に渡ししている。

### 読書活動に関するボランティア

#### 読み聞かせボランティア

- ・毎週1回程度の朝自習の時間を読み聞かせの日とし、ボランティアとして登録している保護者が持ち回りで行っている。

#### 学校図書館の整備ボランティア

- ・毎週2回、2時間程度の活動をし、図書の整理・修理・壁面装飾・蔵書の調査などを行っている。

#### 高校生ボランティアによる小学校での読み聞かせ

- ・月に2～3回程度、高校生が小学校を訪問し、20分程度、絵本等の読み聞かせボランティア活動を実施している。

### 読書量の個人差を少なくするための手立て

#### 「朝読・昼読」などの一斉読書の時間の設定

- ・朝の一斉読書や昼休みにおける読書活動を実施している。

#### 毎月23日は読書の日

- ・家族で読書をする習慣を身に付けるために、毎月23日を「読書の日」に設定し、児童が家族に紹介した本を家庭で読み、誰とどんな本を読んだかを読書カードに書いている。

#### 週末読書

- ・親子での読書を週末の家庭学習とし、読書カードなどに記録している。

#### 親子読書月間

- ・9月から10月にかけての1か月間を読書月間とし、家庭で保護者も一緒に読書をする期間を設けている。月間中には、教職員による全校児童対象の読み聞かせ集会を開いている。

### <家庭・地域における取組事例>

#### 読書を通して、家族のコミュニケーションを図る「家読」の実施

- ・家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す「家読」を行い、家族で読書の習慣を共有している。

#### ボランティアによる学校図書館の図書受入作業の補助等

- ・学校において新たに購入した図書の受入作業を、地域のボランティアと学校の教職員が協働して行っている。

#### 遊びを取り入れた読書活動

- ・読み聞かせや家読（うちどく）を推進するために、カルタあそびなどの手法を取り入れた読書活動を行っている。

#### 手作りブックバッグの作成

- ・児童が自分の本や学校図書館から借りた本を入れ、いつでも読書ができるようにするためのブックバッグを保護者や地域の方々に作成している。

## (2) **子どもの読書活動の推進に向けた働きかけ ~ 取組への支援 ~**

### **「子どもの読書活動を支援する団体等の組織化」への対応**

#### **< 読書活動の支援団体への加入促進 >**

読み聞かせは、子どもたちが様々な本に接する機会を増やし、読書がより好きになっていくきっかけになることから、多くの方々が関われるよう、読み聞かせや学校図書館の整備に携わるボランティアサークルを組織化し、団体間の情報交換や、活動内容の充実に向けた研修機会を確保する必要がある。

### **「読書推進アドバイザーの資質向上」への対応**

#### **< 読書推進アドバイザーの資質向上 >**

平成21年度・22年度に開催された読書アドバイザー養成講座により、道内のほぼ全ての市町村において読書推進アドバイザーが確保された。今後は、読書推進アドバイザーが、地域における子どもの読書活動の推進役となるよう、学校や地域において積極的に活用されるとともに、アドバイザーの知識や技術の研さんに努める必要がある。

### **「子どもの読書活動推進計画未策定市町村への指導助言」への対応**

#### **< 子どもの読書活動推進計画の策定 >**

子どもの読書活動推進計画の策定は、地域における子どもの読書活動を見つめ直すとともに、地域住民に対して、子どもの読書活動の重要性をアピールするよい機会となることから、未策定市町村への情報提供を行い、策定に向けた支援を行っていく必要がある。

### **「子どもの読書活動推進に係る情報提供」への対応**

#### **< 「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」における事業実施 >**

子どもの読書活動を推進する法律で4月23日を「子ども読書の日」と定めており、地方公共団体は子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならないとされている。このことから、学校・家庭・地域それぞれにおいて、4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」の期間に、子ども読書活動の推進に向けた取組が充実するよう、実践事例等を情報提供する必要がある。

## **【道教委の取組】**            **は重点的な取組**

### **学校支援地域本部における学校支援活動**

- ・学校支援地域本部で、ボランティアによる読み聞かせ活動や図書ボランティアによる学校図書館の展示の飾り付けなどの環境整備を行う。

### **家庭教育サポート企業との連携**

- ・家庭教育サポート企業による子どもの読書活動の推進等に係る取組を「家庭教育サポート企業だより」に掲載し、各教育局や家庭教育サポート企業等に情報を発信していく。

### **子どもの読書活動を支援する団体が組織されるよう市町村に情報提供**

- ・読み聞かせサークルや学校図書館整備ボランティアの活動事例を紹介し、活動団体の組織化が推進されるよう理解を図る。

### **子ども読書ボランティア研修の実施**

- ・道立図書館における子ども読書活動支援事業として、市町村における子ども読書ボランティアの育成を図るため、公立図書館及び教育委員会の職員を対象とした研修を行う。

### **学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業研修会（読書活動）の実施**

- ・学校支援地域本部、放課後子ども教室・放課後児童クラブ等に関わる指導員等を対象とした研修会において、子どもの読書習慣の定着に関する研修内容を設定する。

### **「子どもの読書活動推進計画事例」の周知**

- ・「子どもの読書活動推進計画の資料の状況」のホームページを未策定市町村に周知することにより、計画策定に向け他市町村の計画を参考にできるよう支援を行う。

### **「子ども読書の日やこどもの読書週間」における実践事例集の作成**

- ・事業実施の事例集を作成し、子ども読書推進ホームページに掲載するなどして、取組を行うに当たって参考になる情報を提供する。

**「学校・家庭・地域の連携情報『みんなで』」への読書活動関連情報の掲載**

- ・毎月発行している情報紙「学校・家庭・地域の連携情報『みんなで』」により、子どもの読書活動の推進等に係る情報を各市町村教育委員会や学校に発信していく。

< 市町村教育委員会の取組事例 >

**子どもの読書活動を支援する団体等の組織化への働きかけ**

- ・市町村の広報誌等により、読書ボランティアの募集を行うなどし、住民に対し活動内容を周知している。

**読書応援団への加入促進**

- ・読み聞かせサークルに対して、読書応援団へ加入することにより北海道読書応援団ニュース「ゆめよみ」の配布が受けられ、他団体の活動状況を把握できることを周知し、加入の促進を図っている。

**読書推進アドバイザーと市町村立図書館等の職員との情報交換の場の確保**

- ・教育局と連携し、各市町村内の読書推進アドバイザーと図書館等の職員が情報交換をする機会をつくり、活動状況の報告や今後の取組などについて協議している。

**読書推進アドバイザーの活用**

- ・地域の図書館や公民館などで開催する子ども読書事業において、読書推進アドバイザーが運営に携わる機会をつくっている。

**子どもの読書活動推進計画策定済市町村の事例調査及び計画策定に向けたスケジュール作成**

- ・「子どもの読書活動推進計画の資料の状況」などを参考に、近隣市町村や同一人口規模の市町村の計画事例を調査し、策定に向けた具体的な作業スケジュール案を作成している。

**「子ども読書の日やこどもの読書週間」における事業の実施**

- ・市町村教育委員会と学校が連携を図り、事業を実施している。

< 学校・家庭・地域における取組事例 >

**保護者による読み聞かせグループや学校図書館ボランティアの組織化**

- ・読み聞かせなどの活動を行っている保護者に対し、活動内容を充実させるためにメンバーの組織化を図り、読書応援団への加入促進を図っている。

**読書推進アドバイザーの活用**

- ・学校において、読書推進アドバイザーによる読み聞かせなどを実施している。

**「子ども読書の日やこどもの読書週間」における事業の実施**

- ・学校の年間行事に子ども読書活動推進事業を組み込み、全校的な取組を行っている。

(3) **各市町村教育委員会や学校における図書の整備 ～環境整備～**

**「学校図書館図書の計画的な整備」への対応**

読書が好きであっても、身近なところに本がないと、本を読むことが難しくなる。また、様々な本と触れ合うことにより、読書がより一層好きになっていく。

学校図書館は、児童生徒の「読書センター」としての機能と「学習・情報センター」としての機能を持ち、「学校教育の中核」たる役割を果たすよう期待されており、学校図書館図書の計画的な整備を行っていくとともに、学校図書館と地域の図書館の間で本を配送し循環させるなど、図書資源を有効に活用する仕組みをつくっていく必要がある。

**【道教委の取組】**            **は重点的な取組**

**図書を循環させるシステムづくりの推進**

- ・北海道ブックシェアリングや家庭教育サポート企業など多様な団体と連携を図りながら、家庭や企業等の協力を得て収集した図書を再活用するなどして、公立図書館と学校間や学校同士で図書を循環させるシステムづくりを推進する。

**学校図書館図書の計画的な整備に向けた市町村への働きかけ**

- ・各市町村教育委員会や市町村に対し、交付税措置の趣旨等について周知するとともに、様々な機会を通じて、学校図書館図書の計画的な整備に努めるよう働きかける。

**学校図書館環境改善事業の実施**

- ・道立図書館における事業の一環として、市町村立図書館等と連携し、学校の教職員やボランティア等を対象に学校図書館の環境改善について助言する。

**道立学校への学校図書館図書整備予算の措置**

**< 市町村教育委員会の取組事例 >**

**必要な学校図書館図書整備予算の措置**

- ・学校図書館図書標準の達成を目指すなど、整備目標を掲げ、計画的な整備を行っている。

**学校図書館と市町村立図書館(室)間の本の配送手段の確保**

- ・給食車の助手席に本を積み、学校への配送・学校からの回収をしている。

**< 学校・家庭・地域における取組事例 >**

**学校と市町村立図書館(室)との連携**

- ・朝読書などに用いる学級文庫用図書を市町村立図書館(室)から定期的に借受けしている。

**インターネット電子図書館の活用**

- ・冊子媒体に加えて、インターネット電子図書館「青空文庫」などによる電子媒体図書の活用を図っている。

**古紙回収事業などと連携した再活用図書の収集活動**

- ・PTAや町内会などで行う、古紙回収事業において、家庭で眠っている本を回収し、学級文庫等で活用のできる本は活用し、それ以外の本は売り払い、新しい本の購入に充てている。
- ・古新聞・古雑誌のほか、音楽CD等も回収して売り払い、学級文庫を充実させている。

#### **寄贈・寄付の呼びかけ**

- ・校区内の個人や企業に対し、学校図書館で必要とする図書リストを提示して、寄贈・寄付を呼びかけ、学校図書館の充実を図っている。

#### **古本市での資金確保**

- ・家庭で不要になった本を古本市で販売し、その収益金によって図書を購入し、学校へ寄贈している。

#### **本のリサイクル**

- ・PTAの呼びかけで、学校の参観日に合わせて家庭で不要になった本を集め、学校へ寄贈している。

#### 参考資料

- \* 「次代を担う子どもの心をはぐくむ北の読書プラン（北海道子どもの読書活動推進計画）」  
平成20年3月 北海道教育委員会
- \* 「北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画）」  
平成20年3月 北海道教育委員会
- \* 「人の、地域の、日本の未来を育てる読書環境の実現のために」  
平成23年9月 国民の読書推進に関する協力者会議
- \* 「子供の読書活動を推進する 読書指南役の働きかけ」  
平成23年8月 東京都教育委員会
- \* 各種調査等
  - ・「学校図書館の現状に関する調査」：文部科学省
  - ・「都道府県及び市町村における『子ども読書活動推進計画』策定状況調査」：文部科学省
  - ・「『子ども読書の日』に関する取組予定状況調査」：文部科学省
  - ・「全国学力・学習状況調査」：文部科学省
  - ・「業務実績報告書」：北海道立図書館
  - ・「北海道の図書館統計」：北海道図書館振興協議会

## 平成22年度 文部科学大臣表彰優秀実践校

札幌市立福住小学校

住所：札幌市豊平区福住3条5丁目1-1 電話番号：011-854-1318

児童数（生徒数）：759名

教職員数：37名

### 学校の紹介

蔵書数：15,995 学校司書の有無：有

勤務形態：札幌市学校図書館地域開放協議会より依頼 司書教諭の有無：有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など

#### 教育目標

人間味豊かで実践力に富んだ子どもの育成

#### 読書活動に関する目標、標語など

朝の読書など、さまざまな読書活動を積極的に取り入れ、読書に親しむ機会を充実させる。  
学校図書館地域開放事業との積極的な連携を図る。

### 読書活動の取組

定期的に行われている取組の概要

#### 【朝の読書】

- ・毎日8時30分～8時40分
- ・全学級で実施

#### 【読み聞かせ】

- ・毎週1回
- ・開放図書ボランティアと教職員とがシフトを組み、全学級で実施

#### 【札幌市寄託図書の活用】

- ・過去5年間に利用した300冊以上の寄託図書をリスト化
- ・イベント的に行われている取組の概要

#### 【全校一斉読み聞かせ】

- ・毎年1回実施
- ・児童は紹介プリントをもとに読み聞かせの教室を選択

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・児童の読書に対する興味・関心が高まり、読書習慣と落ち着いた学習態度が形成されてきた。

#### 【課題】

- ・学校図書館地域開放事業との連携をさらに強め、読書と学習の両面で使いやすい図書館経営を目指す必要がある。

## 恵庭市立恵み野中学校

住所：恵庭市恵み野東1丁目1-2 電話番号：0123-37-0331

児童数（生徒数）：429名 教職員数：27名

### 学校の紹介

蔵書数：11,253 学校司書の有無：有 勤務形態：専任 司書教諭の有無：有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など

#### 教育目標

- 意欲をもって自ら学ぶ
- 正しく判断し協力して活動する
- 広い視野と豊かな心をもつ
- 生命を尊び健やかでたくましく生きる

#### 重点教育目標

心豊かでたくましく学ぶ喜びあふれる生徒の育成

#### 読書活動に関する目標

読書活動を通して活字に親しみ、ことばを学ぶ事から豊かな感性・思考力・創造力を磨き、生活を潤いのあるものにする。

- ・学校図書館を活用し、さらに読書に親しめる条件づくりの推進
- ・読書の時間を設定し、本に親しみ読書する習慣の形成
- ・朝読書の積極的な推進
- ・市立図書館・学校司書やボランティア活動との連携の充実

### 読書活動の取組

#### 定期的に行われている取組の概要

- ・朝読書毎日登校時刻5分前に全校生徒が登校を終え、静かに10分間の朝読書に入る。
- ・図書の出し出し毎日（読書の強調週間では朝の出し出しを実施）
- ・昼の校内放送での読み聞かせ定例生徒会図書委員会、PTAボランティア（読書活動推進委員）による読み聞かせ（生放送、録画）
- ・PTAボランティア活動週1回程度図書館内の装飾、本の修理、読み聞かせの準備
- ・学校司書による図書館利用に関わる指導4月新1年生

#### イベント的に行われている取組の概要

- ・生徒会図書委員会による読書推進のための様々な企画（新刊紹介など）
- ・「よみかたりの会」秋～冬（音楽や落語と連携した企画など）
- ・校区内小学校への読み聞かせ訪問（1つの学年が多く数の班に分かれ、1～3年の学級に訪問しゲーム、読み聞かせで交流）

#### 成果と課題

##### 【成果】

次のような成果が見られた。

- ・朝の生活習慣の確立
- ・読書意欲の向上
- ・学力の向上
- ・PTA、地域との連携

##### 【課題】

- ・さらに読書を活用した教育活動を工夫し、読書意欲の向上、読書を通じた言語活動の充実、心の育成など、必要な生きる力をもった生徒の育成に努める必要がある。

北海道江別高等学校（全日制）

住所：江別市上江別444番地の1 電話番号：011-382-2173

児童数（生徒数）：1,050名 教職員数：79名

#### 学校の紹介

蔵書数：23,957 学校司書の有無：有

勤務形態：--- 司書教諭の有無：有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など

##### 教育目標

知性を高め、創造性豊かな生徒

自由を尊び、責任をもつ生徒

健康に努め、実践力のある生徒

読書活動に関する目標、標語など

##### 【目標】

- ・『朝の読書』などを通して、生徒の図書館利用を推進し、読書習慣を形成させる。読み聞かせやブックトークを通じて読書に対する理解の深化に努める。

##### 【朝読書の標語】

- ・みんなでやる・毎日やる・好きな本でよい・ただひたすら読む

#### 読書活動の取組

##### 定期的に行われている取組の概要

全校一斉「朝の読書」（毎日8:35～8:45）

- ・「朝読」支援のための図書館早朝開館

- ・各クラスへの学級文庫の設置

- ・担任も一緒に行う「朝読」実施(11年目)

- ・「朝読アンケート」の毎年実施

- ・「朝読アンケート」集約結果を踏まえた教職員研修会の開催(平成12年から毎年実施)

図書局員による「読み聞かせ」（年3回）

お薦め本「ブックトーク」（平均月1回）

- ・「映画化された本」「恋愛がテーマの本」等設定したテーマに沿って、図書局員が参加者へ本の紹介をした（昼休み）

図書オリエンテーション」（年1回）

- ・新年度始めに、図書館利用について1年生全員を対象に指導した。

図書新聞「ブックサロン」の発行(年1回)

##### イベント的に行われている取組の概要

- ・昨年度、近隣の幼稚園を訪問し、『絵本』の読み聞かせを連続3日間行った。

##### 成果と課題

##### 【成果】

- ・「朝読」の継続実施により生徒の読書習慣の定着を図ることができた。

- ・「朝読アンケート」の実施により生徒自身の取組に対する振り返りと、読書意欲の喚起につながった。

- ・生徒主体で行う取組により、思考力や言語能力を高める読書活動が推進された。

##### 【課題】

- ・国語力の向上に結び付く読書活動を推進する必要がある。

- ・地域に貢献できる読書活動を一層充実する必要がある。



# 平成23年度 文部科学大臣表彰優秀実践校

恵庭市立柏小学校

住所：恵庭市文京町3丁目3番3号 電話番号：0123-32-3579

児童数（生徒数）：635名 教職員数：33名

## 学校の紹介

蔵書数：12,679 学校司書の有無：有 勤務形態：常勤 司書教諭の有無：有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など

### 教育目標

基礎基本をしっかり身に付け、心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成

- ・思いやりのある子（情） 『あいさつ』
- ・がんばりぬく子（意） 『夢』
- ・よく考える子（知） 『楽しさ』
- ・たくましい子（体） 『笑顔』

### 教育活動実践目標

「あいさつ・夢・楽しさ・笑顔いっぱいの子どもの育成」

- ・確かな学力の向上
- ・思いやりや命を大切に作る心の育成
- ・健やかな身体の育成

### 読書活動に関する目標

教育実践目標に「心豊かで思いやりのある子ども」「読書が好きな子ども」を掲げ、学校研究で読書活動部会を設立し、様々な読書活動の推進に取り組んでいる。

## 読書活動の取組

### 定期的に行われている取組の概要

- ・朝読書を全校一斉に毎日始業前に10分間実施（週に1度、教員も参加）
- ・図書室の終日開放（朝・大休み・昼休み・放課後の貸出し）
- ・図書館便りを月2回発行（保護者への家読の啓発も含めて）
- ・全学年に読書TTが読書教材を中心とした授業への関わり（TTでの授業、関連図書や資料の紹介など）
- ・全学級を対象とした年度初めの図書館利用指導（5、6年生は、市立図書館で実施）
- ・全校に学級文庫を配布、市立図書館団体貸出文庫を希望クラスに配布
- ・リクエスト本は配本車（毎日運行）により市立図書館や他校から借り受けし、児童に提供
- ・教科書の参考図書紹介
- ・新聞を活用した授業の推進
- ・調べ学習コンクールの推進
- ・図書ボランティアによる本の読み聞かせ（月2回）や室内装飾など、保護者や地域住民と一体となった活動を展開

### イベント的に行われている取組の概要

- ・「読書まつり」を12月に実施。読書月間として幻燈会・落語会・しおり作り・読書貯金通帳の記入（6年間で読んだ本を記入し、卒業時に児童にプレゼント）
- ・年間を通した教師による読み聞かせ（月に2～3回）
- ・読書アンケートの実施（年度末）
- ・地域ボランティア寺子屋プラザ（土曜開催年5回）

### 成果と課題

#### 【成果】

読書好きな子が多く、参考図書を利用した授業を行うことで、児童が本に触れ親しみ、図書室利用が日常的に行えるようになっている。また、図書室は、朝の貸出しからいつもにぎわい、1日を通していつでも開館している憩いの場でもある。しかし、校内児童の読書アンケート結果から、学校での読書は定着してきたが、「家ではほとんど読書をしない」ことがわかった。

#### 【課題】

今後は家読うちどくができる環境をつくる取組を実施するとともに、図書館担当教諭と学校司書の連携により、児童一人一人が豊かな読書活動を行える学校図書館を目指したい。

学校全体では、読書を活用した教育活動を工夫し、読書意欲の向上、読書を通じた言語活動の充実を図り、情報活用能力を高めることで全ての学力の向上に結び付けていくことも課題である。

## 千歳市立向陽台小学校

住所：千歳市若草5丁目1番地 電話番号：0123-28-2111

児童数（生徒数）：169名 教職員数：24名

### 学校の紹介

蔵書数：9,489 学校司書の有無：無 勤務形態：- 司書教諭の有無：有  
教育目標・読書活動に関する目標、標語など

#### 学校教育目標

『明るく豊かな心とたくましい体を持ち、  
進んで自らを創造し実践する子どもの育成をめざす』

- (知)すすんで考える子
- (情)すなおで思いやりのある子
- (意)ねばり強くやりぬく子
- (体)明るくたくましい子

#### 平成23年度重点目標

『相手を思いやる心の育成』～やさしい言葉づかいで話しかける子～

#### 読書活動に関する目標

朝の読書活動（読み聞かせ等）を継続し、心を耕す機会としての推進を図る。

#### 図書室に掲示している標語

よい本を読めば...

- やさしい気持ちが心にたまる 正しい気持ちが心にたまる
- 強い力が心にたまる ひろい知識が心にたまる

### 読書活動の取組

#### 定期的な取組

##### 【読書の日】(年一回、全校)

- ・4月23日の子ども読書の日にあわせ、全校で読書活動を行う。今年度は『低学年：「森ック」(本校図書ボランティア)による読み聞かせ、中学年：すみれ文庫(地域図書ボランティア)による読み聞かせ、高学年：岸田典大さんによる絵本パフォーマンス』の内容で行った。

##### 【読書週間】(春と秋の年二回各二週間、全校)

- ・期間中は休み時間の他に朝の貸出しが行われ、毎日朝読書となる。今年度春の読書週間は『本の森委員会(児童図書委員会)：オリジナルの本作り、「森ック」：スカイツリーに負けるな！目指せ634冊&6340ページ！向小ブックツリー！』等の企画が行われた。

##### 【全校本開き】(年一回、全校)

- ・最初の全校集会の日に、一人一冊(先生方も)本を持ち寄り、5分間の全校一斉読書を行い、本開きとする。

##### 【全校朝読書】(毎週水曜日、全校)

##### 【朝の読み聞かせ】(隔週水曜日、低学年)

##### 【市立図書館との連携】(年一回、PTA)

- ・PTAによる市立図書館から年200冊の長期貸出しの利用

##### 【図書室環境整備及び日常業務】(毎週火・木曜日、「森ック」)

##### 【ボランティア会議】(月一回、「森ック」)

##### 【地域開放】(全児童登校日、地域登録者)

#### イベント的な取組

##### 【季節に合った飾り付け・各種コーナー作り】(不定期、「森ック」、本の森委員会 等)

##### 【図書の紹介、オリエンテーション】(担任からの要望があれば)

#### 成果と課題

##### 【成果】

- ・児童の読書に対する興味・関心が高まり、貸出し冊数が増えてきている。また、読む本の幅も広がり、抵抗なく様々な種類の本を手にとることができるようになってきた。

##### 【課題】

- ・図書ボランティアの活動費や外部講師を呼んでの読書活動等に対し、予算を付ける必要がある。
- ・学校間で本の貸し借りをしたり、同じテーマの本を集め授業で活用したりするために、千歳市での図書データベースのシステムを構築する必要がある。

## 北海道教育大学附属釧路小学校

住所：釧路市桜ヶ岡7丁目12番48号 電話番号：0154-91-6322

児童数（生徒数）：407名

教職員数：36名

### 学校の紹介

蔵書数：7,531 学校司書の有無：無 勤務形態： 司書教諭の有無：有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など：

#### 教育目標

- あかるく
- かしこく
- なかよく
- たくましく

#### 読書活動に関する目標

日常的に読書に親しみ、図書室を有効に活用する児童の育成

### 読書活動の取組

定期的に行われている取組の概要

#### 【読書週間の設定（年4回／計5週間）】

- ・登校後から1時間目始業5分前までの時間を活用した「朝読書」を実施
- ・期間中、学校図書館から学級児童数+10冊程度の図書を教師または児童が選定し学級で保管
- ・各階に図書委員の児童が選定した「お薦めの図書コーナー」を設置
- ・図書委員の児童が各学級に訪問し、お薦めの図書を紹介
- ・読書週間用「読書カード」を全児童に配付し、読書量や取組の振り返りを毎日記入

#### 【読書賞の配付】

- ・前期、後期の2回実施
- ・半年間の読書量が2000ページを超えた児童や、自己目標ページ数を超えるなど努力の跡がみられた児童などを表彰

#### 【昼の校内放送を活用した図書の朗読】

- ・放送委員の児童が図書を選定し朗読

#### 【学級担任による学校図書館の利活用に係る指導の実施】

- ・5月上旬に実施
- ・司書教諭が指導案を作成し、それをもとに各学級で指導

#### 【市立図書館の団体貸出サービスの利用】

- ・学年及び学級でサービスを利用し、学級図書の充実を図る

#### 【図書館司書を招へいしてのブックトークの実施】

- ・全学級を対象に図書館司書が実施
- ・1年生は春に司書教諭が、秋に図書館司書が実施

### 成果と課題

#### 【成果】

- ・児童の読書量が増加してきた。
- ・自己の読解力、目的にあった図書を選ぶ（借りる）ことができるようになってきた。
- ・読書のジャンルが広がり、読書の楽しさを実感できるようになった。

#### 【課題】

- ・児童のし好や発達の段階に合った図書や各教科で利活用できる図書の充実が必要である。
- ・主体的な利用を促すための学校図書館の環境整備が必要である。
- ・市立図書館やPTAとの連携が必要である。
- ・各教科等における学校図書館の利活用の充実が必要である。



北海道「朝読・家読運動」イメージキャラクター

ニセコ町立ニセコ小学校 福井 杏果 さんの作品